

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

<https://lacadosokai.com>



目次

2

巻頭言：大谷選手と私達

大口 正勝（健康部会長）

3

同窓会設立40周年記念事業
について

4

地域活動事例発表会の報告

5

部会だより

- ⑤ 健康部会
- ⑥ 文化部会
- ⑦ 研修部会
- ⑧ 地域活動部会

9

小学校支援活動実績表および
まちなか支援活動実績表

10

事務局からのお知らせ



仰木の里・棚田見学会(10月22日)

11

広報部取材：考古学と俳句に
魅せられて—鵜飼敏彦さん—

12

会 員 投 稿

16

会員文芸
会員動向・編集後記

主な行事予定

❖イキイキふれあい祭り

1月14日(金)～17日(月)：平和堂石山

2月4日(金)～7日(月)：アル・プラザ堅田

❖レイカディア大学草津校 大学祭

3月4日(金)・5日(土)：レイ大キャンパス

❖第5回レイカディア大学 陶芸作品展

4月5日(火)～10日(日)：滋賀県立美術館

*「新年会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました

大谷選手と私達

健康部会長 大谷 正勝(36期 地文・堅田)

皆さんは我が国の世界における順位を、どのようにお考えでしょうか。

明治維新以降、我が国は国勢を急拡大しましたが、第二次世界大戦で多くを失いました。しかし戦後の驚異的な復興により、米国の社会学者にジャパン・アズ・ナンバーワンとまで言わせるほどに、世界に存在感を示したのです。日本的な経営、官僚の国を思う姿勢、科学技術あるいは学習意欲の高さなどが我が国の“強み”とされました。そんな訳で、日本は世界のトップレベルにある、と私は思い込んできました。ところが、近年に至って日本の世界順位に異変が起きています。著しく順位を下げているのです。

スイスの国際経営研究所（IMD）が公表している世界64か国・地域の「国際競争力」によると、1989年から3年の間世界1位であった我が国は、順位を下げ続け今年の発表では31位です。「ビジネス効率性」や強みとされてきた「研究開発力」の急低下が要因のようです。

そういえば、昨年からのコロナ禍で我が国のデジタル化が近隣アジア諸国や欧米に比べ、大幅に遅れていることが露見しました。鳴り物入りで新設されたデジタル庁は、官庁のデータ囲い込みにあって動きが鈍くなっています。かつては志が高かった官僚がコロナ救援金をだまし取るなど、官僚のモラル低下も起きています。企業経営においても取締役女性や外国人を登用するのが世界の潮流になっていて、欧米の主要企業では女性取締役が3割を占めるというのに、日本の主要企業の半数は女性や外国人を登用していないのが実情です。

学問の世界でも凋落があります。注目度の高い研究論文の指標となる“TOP10%補正論文数”は学術界の序列を表しますが、2000年時点で米・英・独に次ぐ4位だった日本は徐々に順位を下げ、今年は10位。研究開発費や論文数では上位にいるにも拘わらず、雑用による研究時間の減少、博士課程進学者の減少などで研究の質が低下しているのです。様々な分野で、日本の後退が目立っています。

こんな状況のもと、10月に行われた衆議院議員選挙で、国の将来を見据えた戦略を語る候補者を私は見出すことができませんでした。日本を立て直す気概のある政治家が、殆どいない現実。私は心配です。

しかしながら、米国大リーグの大谷翔平選手のMVP受賞は、勇気をもらえるニュースでした。日本人にも活力がある証、と嬉しくなります。私達に勇気を与えてくれた気がします。

我が国の低迷を脱却するには、大胆な規制改革やAI、脱炭素やジェンダーギャップ等々、世界的な課題への対応や投資が必要と言われます。そうした対策の中でも、私は“人づくり”への投資が肝要と思っています。国の総力を結集して、技術立国の復活です。

こうした対応は政治の問題と考えがちですが、現役を終えた私達にもできることがあります。実行しています。子息への養育援助、ボランティア活動での学校支援、環境保全や地域活性化活動など。一つ一つの成果は微々たるものでも、人づくりや産業・商業を後押しし、振興に貢献して行けるとと思っています。

同窓会設立 40 周年記念事業について



同窓会では設立40周年を記念して「40周年記念事業」を行いました。

12月1日(水)に長浜ドームで9支部対抗のグラウンド・ゴルフ大会、12月17日(金)に滋賀県立男女共同参画センター(近江八幡市)で記念式典、講演、グラウンド・ゴルフ大会の表彰式等が行われます。

なお、記念式典については、「かけはし」編集後に開催のため、ここでは予定として記載します。

支部対抗グラウンド・ゴルフ大会(12月1日:長浜ドーム)

大津支部代表選手(敬称略)

団体戦選手

- ・比叡地域 田北憲広(38期 園芸)
- ・石山地域 松岡克実(32期 健レク)
- ・中央地域 山村則男(40期 園芸)
- ・瀬田地域 中村 登(37期 園芸)
- ・瀬田地域 河村良一(38期 園芸)

個人戦選手

- ・石山地域 小林 茂(37期 園芸)
- ・石山地域 遠藤修一(39期 陶芸)
- ・中央地域 住若富子(34期 健レク)
- ・石山地域 茨木慶一(35期 地文)
- ・石山地域 古澤秀夫(39期 陶芸)



長浜ドームで同窓会メンバーが集結し、各支部代表として熱戦を繰り広げました。総勢113名。これは、2015(平成27)年に竜王町で開催された第16回支部交流大会以来、久しぶりの全支部対象のグラウンド・ゴルフ大会でした。

多くの参加者にとってはこのような大きな大会は初めての経験でしたが、和気あいあいと旧交と懇親を深めるよい機会となりました。成績上位の優秀支部、優秀個人の表彰は17日開催の記念式典で行われます。



記念式典

日時:12月17日(金) 受付 13:15 開式 13:45

会場:滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが(近江八幡市鷹飼町)

第1部:式典

- ・主催者挨拶
- ・来賓紹介と祝辞
滋賀県知事 三日月大造 様
近江八幡市長 小西 理 様
レイカディア大学学長 渡邊光春 様
- ・開催趣旨(40年の歴史)説明とDVD放映
- ・グラウンド・ゴルフ大会の成績発表と表彰
支部対抗戦1位~3位、4位から9位は敢闘賞
個人戦1位から5位、飛賞、ホールインワン賞



第2部:記念講演

演題「新しくわかった近江商人の世界」
講師 満田良順氏(近江日野商人館長)



第3部:アトラクション「懐かしの我青春ソング」

出演 ビーフォー&エー(野洲市在住のフォークバンドグループ)

地域活動事例発表会の報告

「第13回地域活動事例発表会」が11月15日（月）の10：00～14：50に近江八幡市総合福祉センター「ひまわり館」1階ホールにて開催されました。

昨年度に引き続き今年度も開催が危ぶまれましたが、いす席を60席に制限し密を避ける態勢を確保し、来賓も最小限として開催することができました。

8支部より活動されている皆さんが若々しく、そして長年継続して活動されている様子など、素晴らしい地域活動事例発表がされました。発表の内容に感動・感激すると同時に、地域の方との楽しそうに笑顔にあふれて接してられている写真等を拝見し、レイカディアの仲間は何事に対してもポジティブであり楽しんでおられることに一層の感動を覚えました。今後もこの活動が継続され、活動に参加する会員・地域の方の仲間が増えていけばと願っております。

大津支部においては、比叡地域を中心に活動されている「卒業式・入学式の花鉢飾り活動」の発表が藤田順一支部長よりなされ、その内容に出席の皆さんも感動されていました。

コロナ禍の中でしたが、延べ参加人数は約120人で、大津支部からも8名の参加があり、盛況のうちに幕を閉じることができました。

この発表会の様子を記録した動画は同窓会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。（地域活動部会長 河嶋文雄）



堀江同窓会会長のあいさつ



発表風景



藤田支部長の発表



質疑応答（河村事務局長）

部会だより

「健康部会」

～たのしく なかよく 元気よく！～

1. 仰木の里・棚田見学会

晴天の10月22日(金)、研修部会と共催で標記見学会を37名の参加を得て行った。

詳細については、研修部会の報告(7頁)をお読みいただくこととして、ここでは写真を2枚紹介するにとどめておきたい。



小椋神社にて

2. 第1回グラウンド・ゴルフ大会

小春日和の11月19日(金)午後、第1回グラウンド・ゴルフ大会を24名参加のもと、矢橋帰帆島公園グラウンド・ゴルフ場で開催した。スタート前の記念撮影と準備体操の後、1組6名の4組に分かれ、AからDの4コースを廻った。

昨年度12月の同所における大会から久し振りのグラウンド・ゴルフだったが、参加した皆さんはプレーを十分楽しまれた様子であった。

表彰は1位河村さん(スコア76)、2位茨木さん、3位遠藤さんで、他に当日賞とBB賞と、ホールインワン賞6つだった。12月1日に開催予定の同窓会記念グラウンド・ゴルフ大会に参加される皆さんにとっては、良い調整の機会になったと思う。



馬蹄形棚田を眺める



スタート前の集合写真



準備体操



真剣なプレーが続いた



表彰の様子

3. 健康部会の今後の計画

2022年1月に、室内スポーツ大会を予定しています。ご期待下さい。

「文化部会」

～趣味をふかめて たのしく学ぼう！～

大津支部作品展について

11月11日（木）～13日（土）に、大津市生涯学習センター1階ギャラリーにて、レイカディア大学同窓会大津支部作品展を開催しました。以下は、その報告です。

1. 開催日時：11月11日（木）13：00～17：00
11月12日（金）9：00～17：00
11月13日（土）9：00～13：00
2. 会場：大津市生涯学習センター 1階ギャラリー
3. 展示作品
絵画 6作品、写真 6作品、書 14作品、絵手紙 37作品
水墨画 1作品、ロートフラワー 1作品、パッチワーク 1作品
押絵 1作品、陶芸 45作品 **合計 134点**
出展者数：22名
出展団体：2サークル（ほのぼの絵手紙 16名、書道サークル 12名）
4. 来場者数
11月11日（木）55名
11月12日（金）68名
11月13日（土）68名 **合計 191名**

5. 感想

- ◇昨年の作品展はコロナ禍で中止。今年は5月に一旦企画したがこれもコロナ禍で延期となりようやく11月に開催でき、感慨もひとしおであった。
- ◇しかし、全体として集まった作品が例年に比べて少なく、特に瀬田地区以外の応募が少なかった。
- ◇集まった作品を並べてみるとテーブル上の陶芸作品が少なかったので少し追加展示を行った。
- ◇感染対策として受付、来場者のマスク着用はしっかり守られており、予備のマスクを準備していたが未着用者は居なかったので使わなかった。署名用の筆記用具は都度アルコール消毒を行った。
- ◇来場者は合計 191名だが、出展者人数はカウントされていないので、準備・運営関係者を入れると 200名をはるかに超える人数となる。
- ◇報道関係では、大津市広報、毎日新聞、読売新聞、びわ湖放送、生涯学習センター、情報誌「マナちゃんだより」に掲載・放送された。
- ◇全体として作品のレベルは高かったようで、素晴らしいと感心された方が多かった。その意味でレイカディア大学とその同窓会のアピールが出来たと思われる。



「研修部会」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～

令和3年度 健康部会・研修部会共催

仰木の里・棚田見学会

10月22日（金）秋晴れのもと、37名のご参加を頂いて仰木の里・棚田見学会を実施しました。午前10時定刻より10分早く成安造形大学多目的室にて、大原 歩さん（芸術学部講師 京大大学院・地球環境学堂補佐員）の講師により、「里山の景観・棚田の水循環システムについて」を受講。

仰木地区は平安期から「仰木庄」として知られ、固有の豊かな文化資源を脈々と今に伝えている。里山・棚田をはじめ歴史、伝承、祭り、信仰、交流生活様式、民俗、風習、道具、自然と言ったものが融合して「仰木の暮らし」を形づくっていて、特に上仰木、辻ケ下、平尾地区には現在も尚、日本の里山に息づいていた心惹かれる魅力がいっぱい詰まっている。上仰木、平尾地区は圃場整備や開発の対象外となり保護されているとのこと。

仰木は天神川と雄琴川に挟まれた東西に細長い集落である。比叡山麓から湧き出た水は二つの川に流れ込み、高所にある天神川から井堰と呼ばれる人工の用水路に取り込まれる。この北山用水路を緩やかに流れる水はいくつもの分水口から必要に応じて開閉、水量調節をしながら棚田へと注がれる。水はそこから自動的に下の田に落とす仕組みになっている。水量のコントロールには丸太の切れ端や土嚢、石、堰板、ペットボトル等素朴な物が使われている。



成安造形大での受講風景



講師の大原氏を囲む参加者全員

学食やカフェ利用で昼食後、車で「わさいな一仰木」の駐車場に移動。健康部会（荒堀氏）の指導のもと入念な準備体操を行う。いよいよ重文・延命地蔵堂を皮切りに棚田を巡るハイキングがスタート。仰木自然文化庭園構想組合長の上坂雅彦氏と大原氏の案内で、延命地蔵堂→薬師堂→上仰木の棚田→ポンプ→平安期からの氏神・小椋神社→一本桜→馬蹄形棚田。起伏に富んだ延長4km強、行程が長いので途中から救済車2台が最後尾に付くも利用者無し。素晴らしきシルバーパワー♥



ハイキング前の準備体操



重要文化財・地藏菩薩を見学

【予告】12月16日琵琶湖博物館見学会「琵琶湖の生態系について」講師・中井克樹氏

「地域活動部会」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～

❖脚立を使用しての作業の禁止

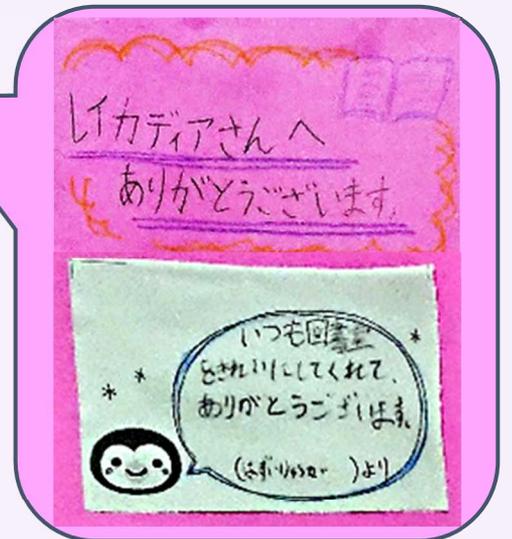
福祉協会より、春に発生した脚立使用時作業の落下事故の報告（現在も車いす生活）を受けました。また、脚立使用に起因する労働災害事故も2019年度には約1,000件発生し、うち90%は転落災害事故であることを受けて、執行役員会と役員会で検討・議論を重ね、会員も年々高齢化していることを考慮し、大津支部においては校庭美化活動での脚立使用を禁止することとしました。ただし、現在も継続実施している瀬田地域においては2022年春までの間を使用限定期間として、作業と実施者を事前申請して実施することを確認しました。

教育委員会にも申し入れて、学校からも危険な作業の要望をしないようにしていただきます。

同時に、エンジン式・電動式の機材を使用した作業においても、経験者の指導の下に実施していただきますようお願いいたします。

❖小学校図書整理の取り組み

現在、8小学校において定期的に地域の方とも連動しながら図書室内の乱丁本の補修整備・分類整理を実施し、学校及び生徒さんからも大変喜んでいただいています。手軽な作業内容でもありますので、会員の皆様には気軽に参加していただけると期待しています。



2021(令和3)年度 小学校支援活動実績表(4月1日～11月30日)

地 域	支援項目	学 校 名	回数	参加者数	内在校生	内協力者
比 叡	校庭美化	木戸小、仰木の里小、仰木の里東小、 仰木小、真野北小、真野小、坂本小、 志賀小、堅田小、小松小、小野小、 雄琴小、伊香立小、日吉台小、和邇小、 唐崎小、真野北児童クラブ	33	241	7	15
	図書整理	仰木の里小	1	5	0	0
	校庭花づくり	小松小、木戸小、真野北小、真野小、 堅田小、和邇小、小野小、伊香立小、 仰木小、仰木の里小、仰木の里東小、 雄琴小、日吉台小、坂本小、下阪本小、 唐崎小、志賀小、堅田幼稚園 真野北児童クラブ	47	64	0	14
	小学校除菌	真野北小	58	58	0	0
	比叡地域合計			139	368	7
中 央	校庭美化	長等小、逢坂小	4	47	0	0
	図書整理	平野小	6	39	2	0
	校庭花づくり	平野小、長等小、逢坂小、中央小	12	19	0	0
	中央地域合計			22	105	2
石 山	校庭美化	南郷小、石山小、青山小、晴嵐小、 南郷幼稚園、田上幼稚園、大石幼稚園	14	120	0	0
	石山地域合計			14	120	0
瀬 田	校庭美化	瀬田小、瀬田南小、瀬田東小、 瀬田北小、瀬田幼稚園、瀬田北幼稚園	16	106	5	0
	校庭花づくり	瀬田東小	8	49	4	18
	図書整理	瀬田南小、瀬田北小	29	107	4	3
	瀬田地域合計			53	262	13
大津支部 小学校支援活動 総合計			228	855	22	50

2021(令和3)年度 まちなか支援活動実績(4月1日～11月30日)

支 援 項 目	回数	参加者数	内在校生	内協力者	
境内美化(建部大社)ボランティア	2	12	0	1	
唐崎やよい作業所ボランティア	1	4	1	0	
スポーツゲームボランティア(聖火リレー)	1	29	6	3	
平和堂作品展&学生募集支援活動	8	140	10	5	
シルバー作品展監視員ボランティア	3	12	0	0	
大津支部 まちなか支援活動 総合計		15	197	17	9

事務局からのお知らせ

❖知名度向上プロジェクトについて

大津支部の知名度向上を目指して各種イベントにプロジェクトメンバーで参加しています。

外部との協業では龍谷大学の学生さんとのプロジェクトで ICT ツールの習得支援がスタートしました。10月14日(木)に大津支部対象にオンラインで習得を行い、12月11日(土)は一般の団体も加わり、ZOOM使用方法並びにスマホ・パソコン連携を行います。学生さんとの会話・懇親も楽しみになっています。興味のある方は是非ご参加ください。また学生さんへのお礼としてコミュニティー論の大学授業に、知名度向上メンバーとしてボランティアで参加しています。

❖Walatte(エールコーポレーション機関誌)10月号に41期健康づくり学科の『Sボラ41健幸体操』でいつまでも元気に。」という内容で掲載されました。

高齢者施設や地域サロンへ出向き健康体操の活動をされています。活動メンバーは8名(大津支部3名)です。

参加者さんから「楽しかったわ」「また来てや」「ほんま良かった」等々声掛けがされると嬉しくなるし、やって良かったと実感するそうです。今後は子供さん、障がい者、若いシニア向けなど幅広く展開を考えているとのこと。



❖役員会と執行役員会の日程

2月3日(木)	執行役員会	生涯学習センター	9時30分～
2月17日(木)	役員会	レイ大大教室	9時30分～
3月4日(金)	執行役員会	生涯学習センター	9時30分～
3月30日(水)	役員会	レイ大大教室	9時30分～

*1月は執行役員会、役員会ともありません。

❖今後の行事予定

イキイキふれあい祭り	1月14日(金)～17日(月)	平和堂石山
第32回市民ヨシ刈	1月30日(日)	アクティバ琵琶前(雄琴)
イキイキふれあい祭り	2月4日(金)～7日(月)	アル・プラザ堅田
レイ大草津校 大学祭	3月4日(金)・5日(土)	レイ大
レイ大42期生卒業式	3月17日(木)	レイ大米原校
43期地域活動体験学習ガイダンス	3月25日(金)	レイ大

考古学と俳句に魅せられて — 鵜飼 敏彦さん —

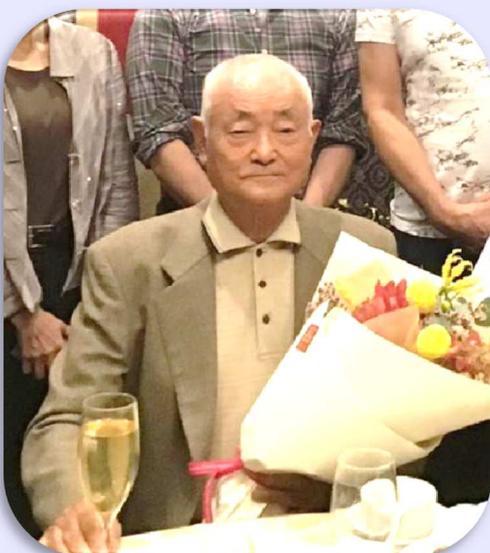
今回は、中央地域の鵜飼 敏彦さん（27期 文芸・平野）を紹介します。

鵜飼さんは1932年生まれの89歳ですが、年齢を感じさせないパワフルな日常を過ごしておられます。レイカディア大学入学の前後より日本の歴史や世界遺産などの考古学に興味を持ち、奈良文化財研究所の小笠原好彦先生（滋賀大学名誉教授）の研修会に参加しておられます。海外にはギリシャのパルテノン神殿やエジプトのピラミッド等100カ所以上も訪れたそうです。現在も大津駅前の日生ビル4Fにある滋賀大サテライトで毎月1回、講演会に参加し聴講をされているそうです。興味ある方は参加してみたいはいかがでしょうか。今も小笠原好彦先生の「古代豪族葛城氏と大古墳」や「小笠原壽久翁」「奈良の古代仏教遺跡」等を読みながら添え書きすると興味が湧くそうです。

俳句は30代から知人らと一緒に始められました。余暇に朝日新聞に投稿し、年間優秀賞に2回も入選されました。「かけはし」にも欠かさず投稿しておられ、皆様も読まれたことがあると思います。四季折々の身近な出来事をたいへん上手く詠まれていて感心します。

最近バレエ観賞や骨董品鑑賞等を楽しんでおられ、健康で毎日元気に過ごせる事の大切さが伝わってきます。また、地域の仲間にも恵まれ、グラウンド・ゴルフ等も楽しまれています。生け花もお好きで、玄関にいつも四季折々の花が飾られ、訪問された人を癒してくれるそうです。

「人生の終末まで元気に楽しく暮らし、安楽に永眠できれば有難いと思います」というのが鵜飼さんのご意向でした。これからも、ますますの御活躍をお祈りします。（広報部会：住若富子）



3D プリンターへのご縁三昧

岡崎 一郎 (21期 スポレク・比叡)

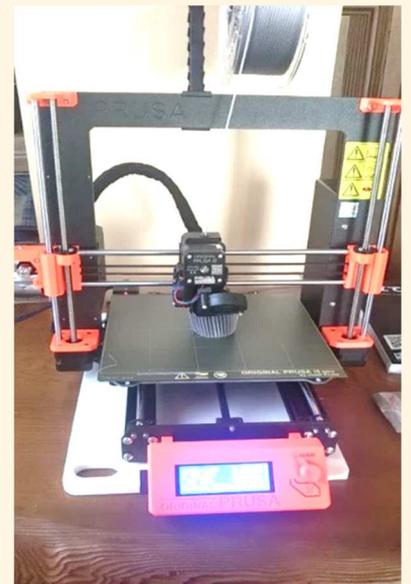
自助具工房「ケアクラフト 002 (おおつ)」との出会いから 22 年の歳月が流れました。会長兼小使いで、多くの関係者に恵まれて、この間元気に活動することができました。

コロナ禍の中、フェースガードの部品であるホルダーを 3D プリンターで製作する NHK ニュースを見たのをきっかけに、当工房でも 3D プリンターの導入・拡大の決心が付きました。みずほ教育福祉財団、赤い羽根チャレンジ事業に申請し助成金を昨年度、今年度と頂き、現在、4 機種 of 3D プリンターを取得し活用しています。

「親子 3D プリンター体験会」の看板を掲げて、今まで 7 回の会合を実施しており、この 12 月開催予定の「H 児童クラブでの体験会」で当初計画を完遂できる状況に到達できました。7 回の会合で一番賑わったのは、「S 児童館主催の夏休みの会合」(右写真参照)でした。体験会プログラムは①3D プリンターの简单介绍、②3D プリンターを触ってみよう、③3D プリンターを使った作品模型を作ろうでした。



これまでの 3D プリンター (右写真参照) 導入の経過を時系列で紹介します。2019 年 11 月立命館大学草津キャンパスで行われた「全国自助具のための 3D プリンター導入体験講習会」に「ケアクラフト 002」から 2 名参加。2020 年 7 月、助成金による 3D プリンター 1 号機を購入。2020 年 9 月「3D プリンター活用技術検定」に会員が 1 名受験合格。上記しましたように 2021 年 4 月に助成金により新たに 3 台の別機種を購入。これらを使った上記「親子 3D プリンターの体験会」を実施しました。そして、別に今年度 5 月～12 月、MK Lab 南草津主催の「3D プリンターで自助具をつくろう」という講習会に 2 名で 10 回参加し、3D CAD を中心した 3D プリンターの操作レベルアップに挑戦して来ました。



来年度も「赤い羽根チャレンジ事業」で、更に地域の小さな課題に挑戦する「日吉・3D プリンター・ラジオ体操・子ども食堂」(仮称)を掲げて、多くの関係者の協力を仰いで、更なる挑戦を開始しています。

振り返ると、不思議なご縁に導かれ今日までの歩みがあると天の采配に深く感謝し、今日も「ケアクラフト 002」の看板を掲げた愛車軽トラで走り続けています。



【追記】「ケアクラフト 002」は、身体の不自由な方々の日常生活が少しでも自立出来る補助道具(自助具)を創作しているボランティア団体です。大津市の保健師、理学療法士さん等からの情報を基に自助具の現地訪問、試作品の製作、テスト使用、改善点の修正等、会員の知恵をあつめて活動しています。併せて地域の福祉活動貢献活動を積極的に行っています。

建築つれづれ

吉原 順三 (40期 地文・膳所)

私が育成地(京都市上京区)で大工になったときは、町屋の仕事ばかりしておりまして、京都の家の改築が多かったように思います。よくウナギの寝床といわれる間口は2間半小間中(≒5m)です。材料の取り回しが良かったのか、間口の広さで税金が取られたのか分かりませんが、奥行は前室・居間・座敷で、奥に庭があり伝い廊下で風呂・トイレとなります。玄関から裏まで通り庭という様式が多いです。その通り庭に側柱が桁・妻梁までのびています。その柱の足元が腐って家が下がるんです。それをジャッキで上げて復旧。そんな仕事は、正に縁の下の力持ちです。それから京都市内も水洗トイレが普及し、通り庭の床を座敷の床と同じ高さにして東京流し(編集部注:ステンレスのシンク)にということです。

そうこうしているうちに、数寄屋の仕事をしている工務店に行く事になりました(大工仕事を習った人は数寄屋大工です)。数寄屋仕事は裕福な施主が多いため出張仕事が多いですね。むろん京都も京都風で数寄屋の家は柱が丸太の家が多いです。面皮といいまして、角に丸太の皮がついているものです。仕事がかかりしにくい(むずかしい)京都ではそれが最上級と言うことです。坪単価がガクンと上がります。それから知り合いから頼まれてセキスイハウスに2年くらい行っていました。その後、自分の仕事も有りまして自立と言うことですが、建築仕事というのは水商売と同じで塀の上を歩いているようなものです。踏み外すと落ちますヨ(涙)。家内もかなりやりにくいと思いますよ。子供3人ですから大変。

次は社寺建築にという話があり行くように決めました。名古屋城横の本丸御殿復元工事(工期10年)でゼネコンの下の名古屋の社寺建築の工務店に3年くらい行っていました。復元ですから昔のやり方で(ボルトや金物を使わずに)ということです。空襲で本丸御殿は焼け落ち、資料が殆ど無かったみたいです(狩野探幽等の襖絵は疎開して難を逃れた)。唯一、二条城が徳川よりの建物なので、写真を多く持ってきました(あまり参考にならなかった(笑))。それから後に大阪谷町九丁目で社寺の新築があり、それに携わっていました。烏帽子装束の写真右が私です。普通の民家なら一人でも出来ますが、この頃は「プレカット」と言いまして建てるまでの刻み仕事はコンピューターで出来ます。図面が読める人なら女子でも出来ます。木工機械が仕事をしてくれますから。お寺は木柄も大きいし屋根仕事が多いので5~10人位は必要です。

今は宗教団体の営繕部門に席を置いています。そこのご近所の人からお地蔵さんの祠(ほこら)が大分傷んでいるので新しく作って欲しいとの依頼が有りまして、この夏に写真のものを作りました。綺麗に仕上げさせて頂いて大変喜んでますとのことでした。

(追記)祠を造るのにお地蔵さんを調べたら昔(最澄より後の話だと思えます)比叡山にあった石仏が風水害で坂本のふもとまで辿り着いたのを各地域で祀ったので坂本がお地蔵さんの故郷みたいです。最近、仰木の里の棚田見学会に行ったときでも、田んぼから多くのお地蔵さんが出土するので、田んぼの脇によだれ掛けをして祀ってあるとの説明でした。



立柱式にて



祠(ほこら)

海浜植物保護活動

清田 輝夫 (39期 びわ環・青山)

淡水のびわ湖には、本来海辺に生育する6種の植物が自生している。課題学習で「びわ湖の海浜植物」について調査し、保護の必要性を感じ保護活動を続けている。

保護活動のフィールドは彦根市の新海浜で、ここには4種類の海浜植物が生育している。我々はハマエンドウ（滋賀県レッドデータブックで絶滅危惧種）、ハマゴウ（同じく希少種）の保護を行っている。団体名は「海浜植物守りたい」で、会員は7名（一般1名）、毎月2回、2時間/日程度実施している。活動内容は主に外来植物の草取りである。

新海浜は愛知川の河口にできた砂浜で、北に伊吹山、西に比良山地が見え、とても景色の良い所である。そもそも1999年に、変わった植物があると地元の人が専門家に問い合わせをし、びわ湖では希少植物のハマゴウの自生地ということが確認された。

地元の人によると、当時、水上バイクが流行っていて車の乗り入れで踏み荒らされ、騒音に悩まされていたそうで、地元の人たちが滋賀県に陳情した結果「ハマゴウ・ハマエンドウ」保護区に指定された。また、柵を設置し車の乗り入れが禁止された。地元の人たちによる「ネイチャーズ新海浜」というボランティア組織が立ち上げられ、環境保全、希少植物の保護がなされてきた。保護活動の結果、生育範囲が増加し、2020年版滋賀県レッドデータブックで「絶滅危機増大種」から「希少種」になった。

しかし、メンバーの高齢化などにより、我々が昨年より引き継ぎ保護している。地元のリーダーの方との交流は続いており、管理の仕方や開花の情報を頂いている。また、琵琶湖博物館の「はしかけ制度」に登録し、学芸員から植物や昆虫などの名前や生態を学んでいる。活動するための機材の購入、交通費については今年度より「夏原グラント」の助成を受けて資金面で助かっている。

春にはハマヒルガオが砂浜に一面に可憐な花を咲かせ、続いてハマダイコンやハマエンドウ、夏にはハマゴウが咲き楽しませてくれる。また、びわ湖の波音を聴きながらの作業はリラックスできる。

みなさんも保護活動の見学・体験をしてみませんか？



ハマゴウ



草取り作業

レイ大を卒業してから

中西 徹 (37期 陶芸・瀬田南)

レイ大陶芸学科を卒業してから早や5年が過ぎたのだが、それが縁で今も退屈することのない日々を過ごしている。卒業の際には草津の山寺天井窯に誘ってくれた人があり、今も好き勝手に陶芸を楽しんでいて、多分これからも自分の健康や周囲の事情が許す限り続けることになるだろう。もともと視覚的芸術には興味があったから。

さらにレイ大時代には卓球部、城郭探訪会、フォトウォーククラブ等で多くの友人に巡り合った。後2者に関しては、今でもそのOBのグループで交流が続いている。別途陶芸仲間の紹介で卓球も再開した上に、下手なテニスも会社時代の仲間と今も続けている。それぞれが中途半端になりがちなのだが、おかげで心身の健康維持のためというのが心の支えになっている。いずれにしてもテニス以外はレイ大入学がきっかけになったもので、振り返ればレイ大入学が私の老後人生の一つの転換点であったことを実感している。

レイ大入学の前は、63歳でサラリーマンを辞めてすぐに毎日が退屈になり、暇つぶしもあってフリーランスみたいなことをしながら70歳近くになった。しかしそれが少々重荷になり始めたころにクレームがあったり、過重な依頼を断ったりしているうちに自然消滅したみたいになった。再び退屈になって、時々信楽に行って潰れた工房に勝手に出入りさせてもらって遊んでいたころ、レイ大陶芸学科を知り、急遽願書を出した。それまで陶芸の基本には無知だったので入学に躊躇はなかった。

今や、ほどなくして齢81。ところで、レイ大とは直接関係の無い話だが、本来なら今頃打ち込んでいたかもしれない秘密の夢もあったのに、幸か不幸か老後の暇つぶし作戦がうまくいったのと、生来の横着癖が邪魔して永らく懸案のままになっている。結局、締め切りがない事は楽だが、万事こうになってしまうのかな。でもまだ諦めていないので、もしかして90歳まで元気なら間に合うかも。



花器のつもりで作った穴窯作品にサボテンを置いてみました



我が家の軒下に作った巣箱でシジュウガラが子育てをしました

鶴飼敏彦

(二七期文芸・平野)

天心も湖心も透ける良夜かな
大琵琶に摺り足はやき初時雨

(二九期 文芸)

兼題「大根」「小春日」「当季雑詠」

瀬田南 大坪石山

大根や大地へ楔突き刺さる
湖と街かいなに抱き山眠る

志賀 岡田一也

大根買うて袋に納まらず
小春日の缶蹴りの缶また蹴られ

晴嵐 久保貞邦

それぞれに甘辛秘める大根かな
小関越ひとつ曲れば初時雨

瀬田月輪 勝田幸川

煮返して崩れ大根味深む
木洩れ日を落葉と共に掃きにけり

会員動向

大津支部会員数 257名 (12月10日現在)

訃報 中央地域平野地区の山田たか子様 (35期健づくり) が10月24日に逝去されました。
満80歳でした。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

編集後記

あれほど爆発的な増加をみた新型コロナウイルス感染が、9月中頃より嘘のように激減しました。同窓会の諸活動もようやく再開され、活気を帯びてまいりましたが、第6波の到来に備えて感染防止には常に注意を払いたいものです。

前号でお休みした各部会の報告や、同窓会設立40周年記念事業報告、そして会員諸氏の投稿などが今号を彩りました。次号「かけはし」76号は来年3月の発行です。

編集委員

岩田和彦・藤田順一 (志賀) 福井かおる (唐崎) 和田紀久子 (日吉) 清水初美 (皇子山)
大塚庸行・住若富子 (打出) 松岡克実 (晴嵐) 脇田 進・遠藤修一・河野安明 (南郷)
中村 登 (瀬田) 佐瀬章男 (瀬田北) 河村良一・中村健一郎 (瀬田月輪)

「かけはし」への投稿については、下記編集委員までお問い合わせください。

中村 健一郎 knakamura4097@gmail.com

レイカディア大学同窓会 大津支部会報「かけはし」75号

発行責任者 大津支部長 藤田 順一

編集責任者 広報部会長 住若 富子

2021(令和3)年12月22日発行

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。

